

4814 パリの魅力とは：観光客数世界一 105

旅行会社の、ミステリーツアーという言葉がある。グループで、ある場所に集合。

参加する人には、行き先を教えない企画らしい。これも一興。

久楽は、ひとり旅。大雑把な渡航先は、決めているが、その他は未定。

危険も承知だが、旅立ち前の、ワクワク感は、不安があっても最高。根は、臆病で慎重な人間

今回のパリ訪問は、ミステリー、トラベル。

エリアガイドや地球の歩き方、季刊映画宝庫「パリ・ヨーロッパ 映画、旅の絵本」

「パリでしたい100の事」その他いろいろな資料がある。中でも古いが、

フランス政府観光局からの「ひとり歩きのPARIS」の資料がわかりやすく、

掲載画像の参考にもなるのではと、掲載させていただいた。



- ① **Champs-Élysées/Arc de Triomphe/La Défense p12**
シャンゼリゼ大通り/凱旋門/ラ・デフアンス
- ② **Concorde/Louvre/Madeleine/Opéra p14**
コンコルド広場/ルーブル/マドレーヌ/オペラ
- ③ **Les Halles/Marais/Bastille p16**
レ・アル/マレ/バステューユ
- ④ **Ile de la cité/Ile St-Louis p18**
シテ島/サン・ルイ島
- ⑤ **St-Germain-des-Prés/Montparnasse p20**
サン・ジェルマン・デ・プレ/モンパルナス
- ⑥ **Quartier Latin p22**
カルチュエ・ラタン
- ⑦ **Palais de Chaillot/Tour Eiffel/Les Invalides p24**
シャイヨ宮/エッフェル塔/アンヴァリッド
- ⑧ **Montmartre p26**
モンマルトル
- ⑨ **La Villette p28**
ラ・ヴィレット
- ⑩ **Les Bois de Vincennes et de Boulogne p29**
ヴァンセンヌの森/ブローニュの森

パリの街はご存知のように 20 区に分かれ、ルーブル美術館周辺の 1 区を中心として、時計回りに番号が渦巻き状についている。数字が大きくなるほど中心から遠くなる。古い統計だが、1990 年、人口は約 215 万、東西に流れるセーヌ川によって二分され、36 の橋、大きさは、東京山手線の内側と、ほぼ同じ面積。

約 1 ヶ月の滞在、短い、長い、いろいろご感想はあるかと。
今回のパリ滞在、一貫性なく、目的は、思いつくままにパリの街をさまようことに、
世界一、観光客数が多いフランス・パリの魅力とは何か。

自然や地方と都会の違い、日本との違い、これまでと違った生活への興味。
感性や感情に触れたものを画像とメモで記録すること。
今の久楽には、理屈はいらない。余分かもしれないがわかりやすいかと下記書き出した次第。

最小限、下記紹介されている各区の特質は再確認。1995年、2013年、2018年、
どのように変化したか、今の世界情勢を知るには、
フランス・パリが語ってくれると、1ヶ月パリ20区を探訪した次第。

- 1区**：ルーブル美術館、パレ・ロワイヤル、チュイルリー公園があるパリの中心。
2区：オペラ座周辺。**3区**：問屋街と昔のパリの面影が残るエリア。
4区：歴史と新しさが調和したマレ地区。**5区**：ソルボンヌ大学、学生街、カルチェ・ラタン
6区：おしゃれなパリジャンが集まるサン・ジェルマン・デ・プレ。
7区：エッフェル塔、アンヴァリッド、名所と官僚邸が並ぶ高級住宅街。
8区：シャンゼリゼ通りがある最も華やかな一帯。
9区：デパートのプランタンやギャラリー・ラファイエットがある商業地区。
- 10区**：北駅、東駅、多様な人種が交錯する地域。**11区**：ナイトスポットのバスティーユ。
12区：近代的な開発が進んでいるベルシー地区。**13区**：チャイナタウン新開発地区。
14区：エコール・ド・パリの画家たちが住んだモンパルナス界隈。
15区：高層ビルと閑静な住宅街。**16区**：観光客で賑わうシャイヨー宮とバツシーパリ西部。
17区：8区寄りの高級住宅街と18区寄りの庶民的地区。
18区：サクレ・クール寺院のあるモンマルトルの丘。
19区：ラ・ヴィレット科学産業都市と音楽都市、シテ・ド・ラ・ミュージック。
20区：パリの下町ベルヴィル。エスニックな雰囲気のある地域。



